



RPA

Robo-Pat

純国産RPAロボパット

事務職が自分で業務を自動化できる
「RPAの切り札」

ロボパット＝「現場主体の業務自動化ソフト」

1. 業務の自動化を技術者に頼らない

ITやシステムに詳しくない業務部門や事務職の方でもロボの作成が可能。
マウスとキーボードを使って、自分の業務を直観的に置き換えることができます。
「人が人に業務を引き継ぐ感覚」で「ロボに業務を引き継ぐ」操作感です。

2. アプリケーションを問わない

ロボパットは、デスクトップ画面に表示される画像を認識して、人間がマウスとキーボードで操作することはすべて代わりに操作できます。つまり、システム、Appを問わずに操作できます。



他にも…書類作成／レポート作成／リスト作成／データ一括登録／データ作成／データ分析／情報取得／計算

ブラウザやメーカーはもちろんAS400や自社開発システムまで全ての作業を自動化できます！



イセ株式会社

当社はシステム改善コンサルタントとして、北陸の企業へのIT・IOT化を推進し
北陸の人財づくり・生産性向上に貢献します

イセ株式会社は、なぜRPAに「ロボパット」を選んだのか？

なぜRPAが注目されているのか？

RPAとは？

RPAとは、「Robotic Process Automation」の略語で、「ロボット」が「パソコン上の手順＝手作業」を「自動化する」ということ。



RPAが導入される理由

- ・作業の正確性
- ・誰もが簡単に業務の効率化・自動化を実現
- ・作業スピードの速さ
- ・24時間365日人間の代わりに働き続けることができる
- ・様々なシステムやソフトを使って行う業務を自動化できる



つまり!!

単純作業で面倒な作業はRPAに任せ、私達人間は生産性の高い業務やクリエイティブな仕事に時間を割くことができる!

システムへの
単純転記作業

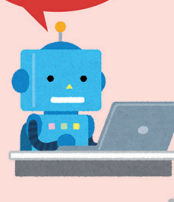


定型文書のデータを社内システムへ登録・転記作業に時間がかかっていたA子さん

RPA導入



単純作業は
RPAへ



お客様対応に
時間を割き
生産性向上!

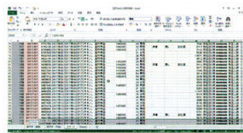


単純作業はRPAに任せ、Aさんはお客様対応に時間を割くことができた!

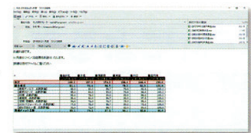
たとえばこんな業務を毎月自動でやってくれます



毎月5日になると、基幹システムに自動でログイン



データをダウンロードしてきて、数値を集計



その集計結果をメールで上司に報告してくれる!

RPAは人を減らす「ツール」ではなく 人を育てる「アプリケーション」として利用すべきである



Robo-Pat を判定した人はこの人達！

点数は10点満点

ロボパットクロスレビュー	費用コスト	導入のしやすさ	社内教育と波及速度	処理スピード	操作性	総合力
 伊勢社長 イセ株式会社の代表にてシステム改善コーディネーターの異名を持つ。「北陸の中小企業にさらなるIT化と生産性の向上を！」との意気込みからRPAの推進に力を注ぐ。	月額費用は少し高めだが、初期費用は掛からないのがありがたい。	マニュアルに沿って訓練していけばおのずとRPAの流れがつかめるので導入のしやすさはピカイチ。	普段から行っているPC業務を画像認識によりそのままRPAのプログラムに組み込めるので教育にも繋がる。	画像認識をメニューにプログラムを組むとどうしても処理スピードが遅くなりがち。訓練次第でスピードを上げることが可能。	それぞれのアイコンを操作しプログラムを組めるので理解しやすいシステムになっている。	初期費用がかからないのと、導入のしやすさ、社内教育による波及効果が高い設計になっており、RPAを初めて導入する企業にはありがたいシステム。
 小西 生粋のシステムエンジニア(SE)にしてプログラマー。システムコンサルタントとしてイセ株式会社に入社。IT業界だけでなくIoT分野にも知識を持っており、様々な成果を上げている。	初期費用は一切不要。フル機能版・実行版を月単位で切替えるため、運用次第でラジコンコストを低く抑える事が出来る。	インストールするパソコンによつては画像解像度を100%に設定しないと、画像認識が正常に行われる事があるのので注意が必要。	RPAで実行させたい業務を、ロボパットにスクリプトとして入力しながら行うことで、簡単に作成出来る。	インストールするパソコンのスペックにもよると思うが、実行時の遅さなどは一切感じない。	Botはプロジェクトという単位で管理されるが、多数Botを作成した場合、プロジェクト管理が必要となる。全般的に直観操作が可能。	画像認識の精度が良いので楽にスクリプト作成が出来る。JavaScriptでゴリゴリ作れるので、腕に自信のある方にも最適。
 冲高 イセ株式会社のRPAコンシェルジュとしてRPA操作を会社として提案。システムエンジニアとしての経験は浅いが、持ち前の明るさで吸収力が一層の新しい試みに挑み続けている。	フル機能版と実行版を月単位で切替えることが可能。ある程度プログラムを作成したら、実行版に切替えることで月額使用料を抑えられる。	練習問題が豊富なため、マニュアルを見ながら実際にシナリオを作成していくことが可能。	シナリオ編集パネルでもターゲット画像が表示されているため、マニュアルとでも活用しやすい。	繰り返し処理の実行速度が速い。CSVやExcel操作に優れていると感じた。	どの画像を認識しているのかを調べる事ができるため、操作の正確性は高いと感じた。	専門的なプログラミング知識が無くても簡単にシナリオを作成できる。プログラミング知識が有る人も無い人も作成しやすいRPAになっている。

ロボパットは、日本人が作った日本の為の次世代型RPAです

RPA導入事例

部門	作業名	工程	月間工数(h)	1回あたり工数(h)	頻度
営業	管理表の取りまとめ	ログイン、Excelにコピペ・集計	4	1	週1回
営業事務	各営業所の売上集計提出	ログイン、データ加工、印刷orメール送信	5	0.25	毎日
総務	レポート集計	メール受信、ダウンロード、加工、メール送信	4	1	週1回
経理	給与台帳	ログイン、Excelにコピペ・集計	9	9	月1回
製造	会議用の加工高集計表作成	ログイン、データ加工、印刷orメール送信	3	3	月1回

※まだまだ多くの事例があります。細かい業務の効率化を重ねていくことで、全体の生産性を向上させていきます。

RPAの導入を成功させるコツは、

「現場や業務部門が自分たちでロボットを作ること」。

つまり、ロボットを「作る人」と「使う人」を一致させること。

それが社員の育成と社内RPAの波及に繋がっていきます。

まずは1年間で総労働時間の2%以上の削減を目指しましょう！

当社が導入から運用まで全面的にサポート致します。

(総労働時間＝社員数×年間労働日数×1日の所定労働時間＋年間総残業時間)

一般的なRPA導入における不安点

操作が難しく業務の自動化が進まない

プログラミング知識が必要なRPAは数多く存在します。その場合、業務部門でのRPA操作は難しく、エンジニアの関与が必須になります。エンジニア不足であれば、エンジニア不要のRPAの導入をお勧めします。



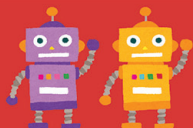
どんな業務をロボ化したらいいの？

お勧めのRPA運用方法は、業務を持っている業務部門の方がRPAを操作すること。自らが多くの業務を持っているため、どんな業務がRPA化可能かのイメージが広がります。業務を持っている方が自らRPAの担当者になれば、多くの問題が解決されます。

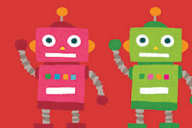


使えないアプリやシステムがある

せっかく、RPA導入を検討しても、使えないシステムやソフトがあると、大きな効果を生み出すことが出来ません。自動化したい業務のあるシステムやソフトがRPAの操作対象にあるかは重要です。



ますます広がる対象業務



営業部門

- 問い合わせメールに対する自動応答処理
- 顧客データベースの情報作成と管理
- 顧客の購入動機を高めるメール作成と送信
- 受注システムへの登録
- 営業活動の進捗管理表の更新

企画部門

- データ入力と集計によるレポート作成
- 市場調査・競合調査のWEB情報収集
- 契約・受注データの管理
- 基幹システムへの入力
- 定期更新データ取込

経理部門

- 会計システムへの入力
- 売上伝票・請求書のデータ作成
- 交通費精算
- 財務レポートの作成

労務部門

- 勤怠データの管理
- 休暇申請の処理
- 入社社員情報登録
- アカウント自動発行

生産部門

- 品質データの収集・分析
- 機械装置モニタリングデータの集約
- POSデータ集計
- データ変換作業

お問い合わせ、セミナー案内等はURLまたはQRコードの登録からお願いいたします。



イセ株式会社

マーケティングシステム開発課まで

ホームページ <https://www.isekabu.co.jp/>
お問い合わせ info@isekabu.co.jp
TEL.0766-21-4600 FAX.0766-21-2956
〒933-0826 富山県高岡市佐野1187

